

令和7年度 行政評価「外部評価（政策評価）」

1. 第三次千曲市総合計画 前期基本計画「成果指標」

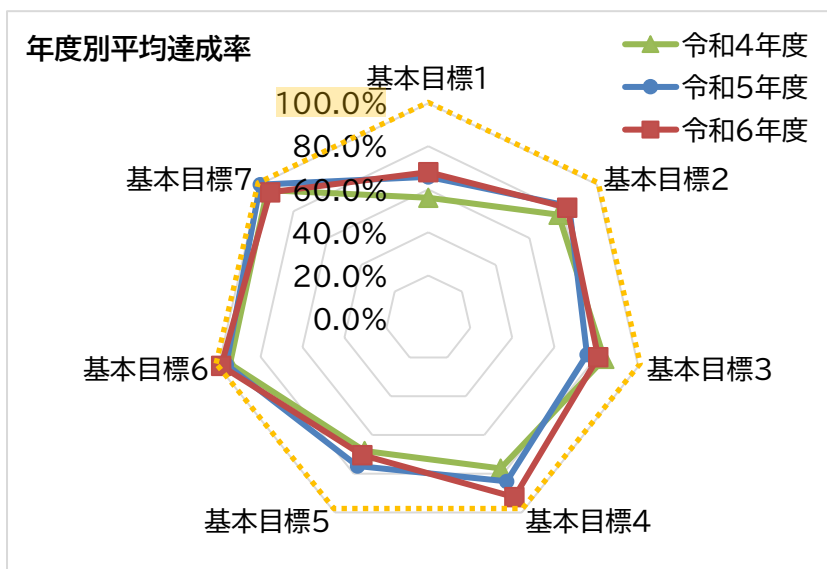
第三次千曲市総合計画(令和4～8年度)」では、まちづくりの達成状況を測る「ものさし」として、31の達成方針(分野)ごとに「121の成果指標」を設定しています。

毎年度の「政策評価」において、指標の達成状況を見ながら政策の展開状況を振り返り、「総合評価」としています。

「施策評価・総合評価」の結果等は、翌年度への改善に向けて取り組めるよう、実施計画や予算編成に反映し、「行政評価結果」としてまとめ公表します。

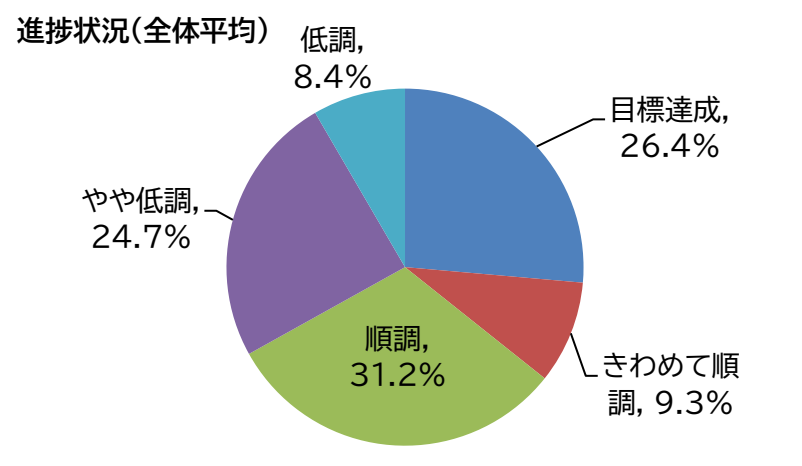


■基本目標1～7の平均達成率及び令和6年度までの進捗状況



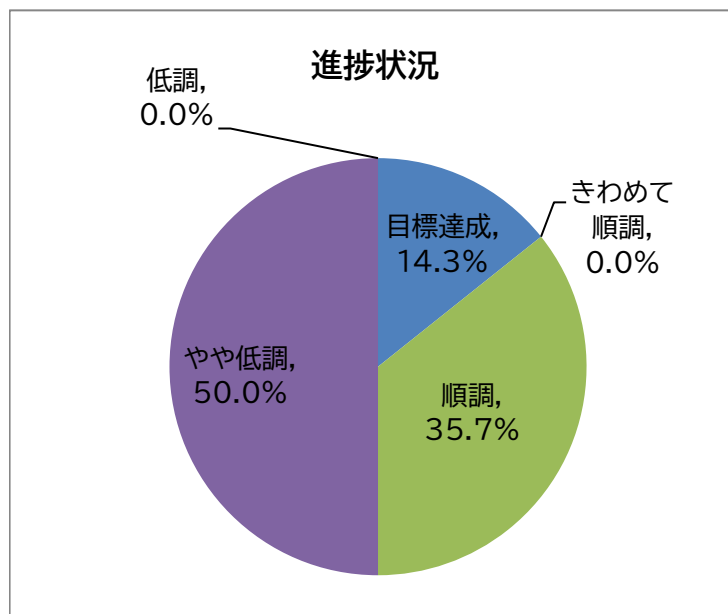
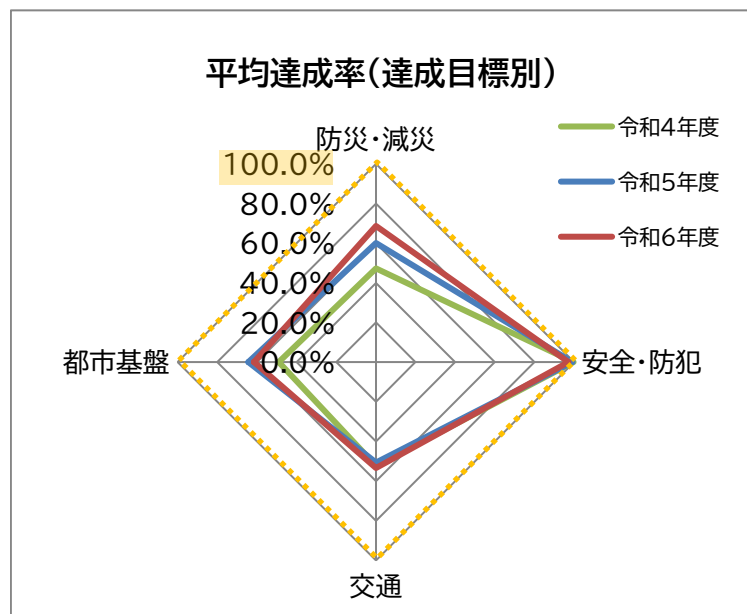
※達成率…各指標における目標値に対する実績値の割合

	平均達成率			令和6年度までの進捗状況	
	R4	R5	R6		
基本目標1	56.1%	65.8%	68.0%	目標達成	14.3%
				きわめて順調	0.0%
				順調	35.7%
				やや低調	50.0%
				低調	0.0%
基本目標2	77.4%	83.7%	82.5%	目標達成	24.1%
				きわめて順調	17.2%
				順調	27.6%
				やや低調	17.2%
				低調	13.8%
基本目標3	83.8%	75.6%	80.9%	目標達成	41.7%
				きわめて順調	0.0%
				順調	33.3%
				やや低調	8.3%
				低調	16.7%
基本目標4	77.3%	83.9%	92.1%	目標達成	28.6%
				きわめて順調	4.8%
				順調	42.9%
				やや低調	19.0%
				低調	4.8%
基本目標5	68.3%	75.9%	70.5%	目標達成	14.3%
				きわめて順調	21.4%
				順調	21.4%
				やや低調	42.9%
				低調	0.0%
基本目標6	94.5%	96.3%	98.7%	目標達成	50.0%
				きわめて順調	10.0%
				順調	40.0%
				やや低調	0.0%
				低調	0.0%
基本目標7	95.6%	99.8%	94.1%	目標達成	11.8%
				きわめて順調	11.8%
				順調	17.6%
				やや低調	35.3%
				低調	23.5%
平均	79.0%	83.0%	83.8%	目標達成	26.4%
				きわめて順調	9.3%
				順調	31.2%
				やや低調	24.7%
				低調	8.4%



※進捗状況…各指標における目標達成までの進捗状況。指標により進捗の判断基準が異なるため、事業担当課等の判断による。

○基本目標1 災害に強く、安全で安心な暮らしができるまち



平均達成率(基本目標全体)		
R4	R5	R6
56.1%	63.5%	68.0%

平均達成率(達成方針別)			
達成方針	R4	R5	R6
防災・減災	47.3%	60.1%	68.7%
安全・防犯	99.7%	99.2%	97.2%
交通	52.3%	50.6%	53.4%
都市基盤	49.0%	64.3%	61.4%

令和6年度までの進捗状況	
目標達成	14.3%
きわめて順調	0.0%
順調	35.7%
やや低調	50.0%
低調	0.0%

平均達成率(基本目標別)

◆令和6年度平均達成率は68.0%となり、前年度比+4.5%となった。達成方針別にみると、【安全・防犯】【都市基盤】において達成率は減少したが、僅かな減少にとどまっている。

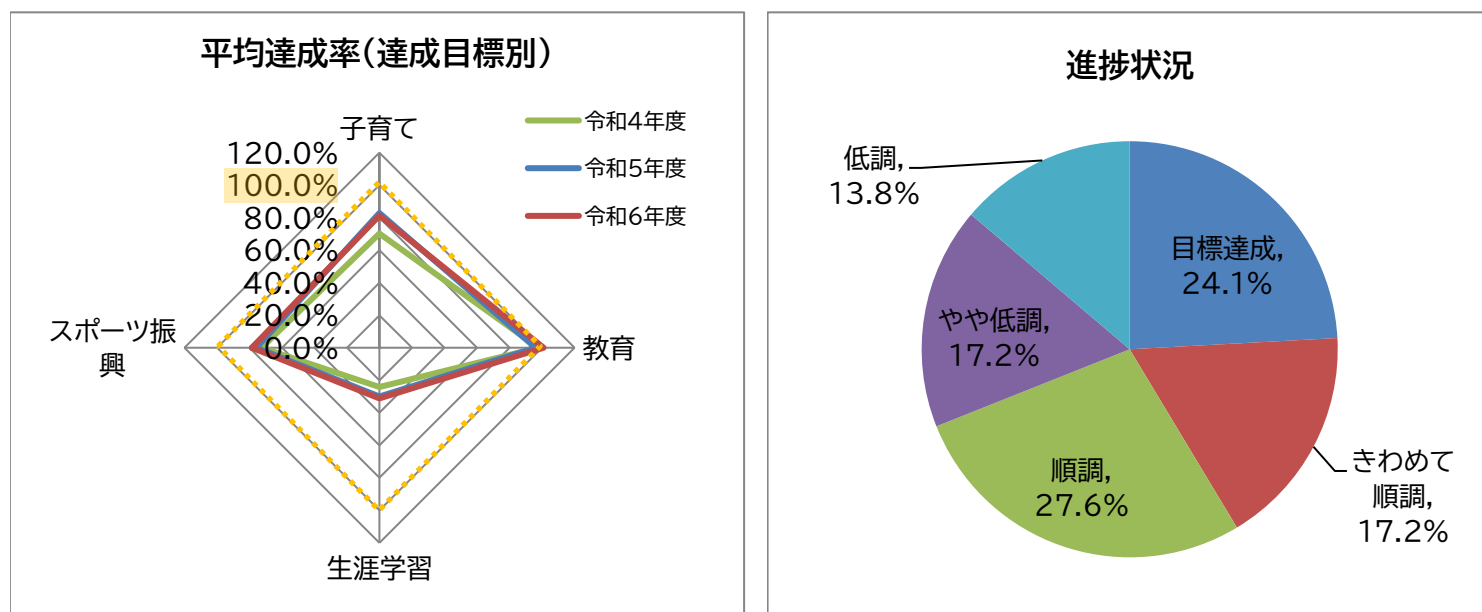
進捗状況

◆『目標達成』～『順調』が5割、やや低調が5割と、比較的順調な指標と若干低調な指標に分かれている。

達成方針別の状況

- ◆【防災・減災】では、『地区防災計画の策定件数』『木造住宅耐震診断の実施件数』が順調に伸びている一方で、消防団員の減少に歯止めをかけるため、更なる対策の研究・実施が課題となっている。
- ◆【安全・防犯】は、各指標において高水準の達成率を維持している。
- ◆【交通】では、『幹線の利用者数(大循環線)』が若干増加したものの、低調傾向が見受けられる。
- ◆【都市基盤】については、全指標において現状維持または実績が上昇しており、概ね順調傾向にあるといえる。

○基本目標2 千曲っ子が元気に育つ、生涯学びのまち



平均達成率(基本目標全体)		
R4	R5	R6
77.4%	83.7%	82.5%

平均達成率(達成方針別)			
達成方針	R4	R5	R6
子育て	70.3%	82.9%	81.3%
教育	97.8%	96.0%	101.0%
生涯学習	24.2%	30.0%	31.2%
スポーツ振興	72.6%	75.8%	78.5%

令和6年度までの進捗状況	
目標達成	24.1%
きわめて順調	17.2%
順調	27.6%
やや低調	17.2%
低調	13.8%

平均達成率(基本目標別)

- ◆令和6年度平均達成率は82.5%となり、前年度比-1.2%となった。達成方針別にみると、【子育て】において達成率が微減となったが、それ以外では上昇した。

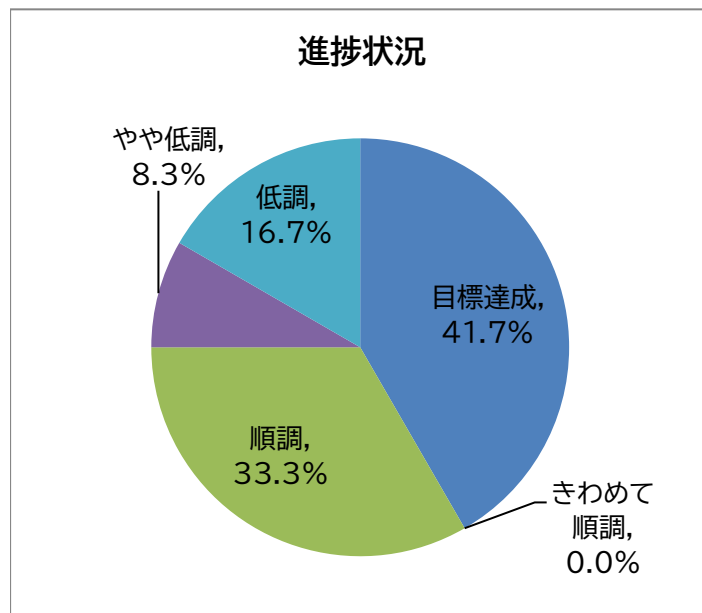
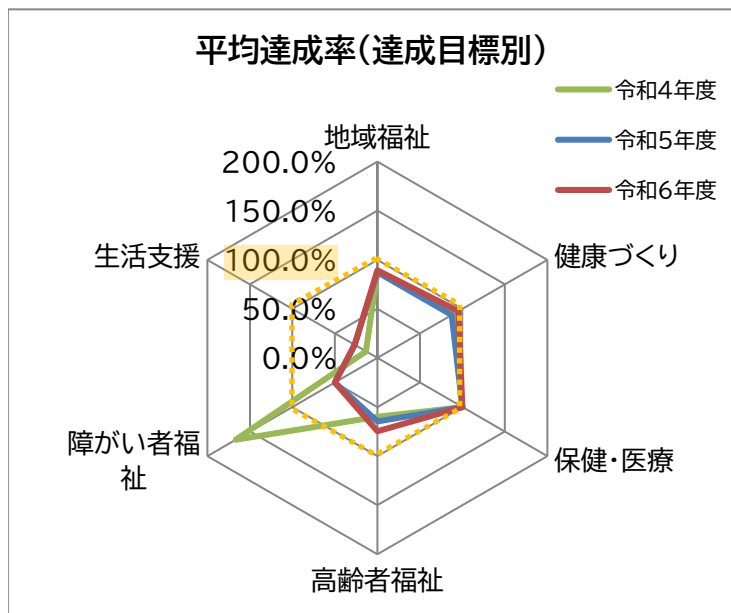
進捗状況

- ◆『目標達成』～『順調』の割合が前年度比+6.1%と、順調に進捗していると言える。

達成方針別の状況

- ◆【子育て】では、順調に推移している指標がある一方で、『子育て相談件数』『結婚相談件数』などの指標は伸び悩んでいる。
- ◆【教育】は、概ね全ての指標において順調に推移している。
- ◆【生涯学習】では、昨年に続き生涯学習人材バンクの新規登録がなかったことが、達成率を押し下げた。
- ◆【スポーツ振興】については、『千曲川ハーフマラソンへのエントリー者数』が順調に増加し、参加者からも高い満足度が得られている。

○基本目標3 支え合い、かかわり合い、誰もが健康で活躍するまち



平均達成率(基本目標全体)		
R4	R5	R6
83.8%	75.6%	80.9%

平均達成率(達成方針別)				
達成方針	R4	R5	R6	
地域福祉	88.0%	87.3%	89.3%	
健康づくり	89.4%	87.3%	95.2%	
保健・医療	100.0%	100.0%	100.0%	
高齢者福祉	60.1%	64.7%	74.7%	
障がい者福祉	166.7%	50.0%	50.0%	
生活支援	13.3%	26.7%	26.7%	

令和6年度までの進捗状況	
目標達成	41.7%
きわめて順調	0.0%
順調	33.3%
やや低調	8.3%
低調	16.7%

平均達成率(基本目標別)

◆令和6年度平均達成率は80.9%となり、前年度比+5.3%となった。達成方針別にみると、【地域福祉】【健康づくり】【高齢者福祉】において達成率が上昇した。

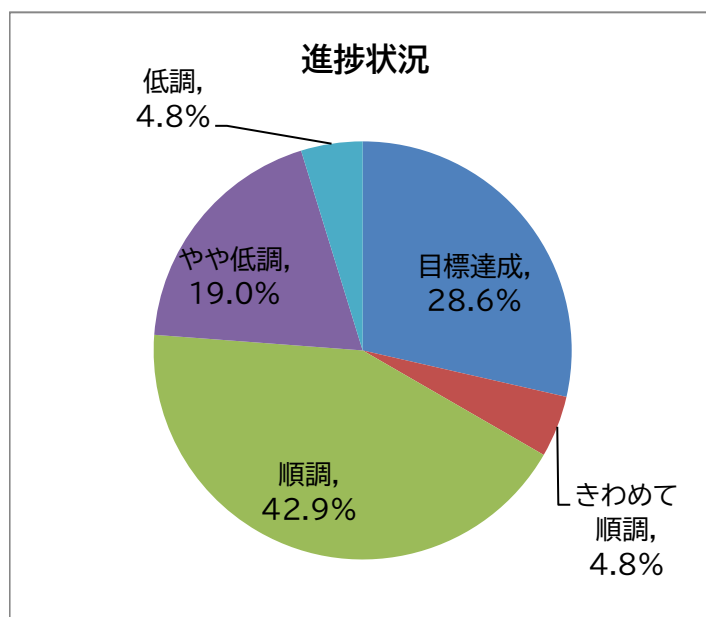
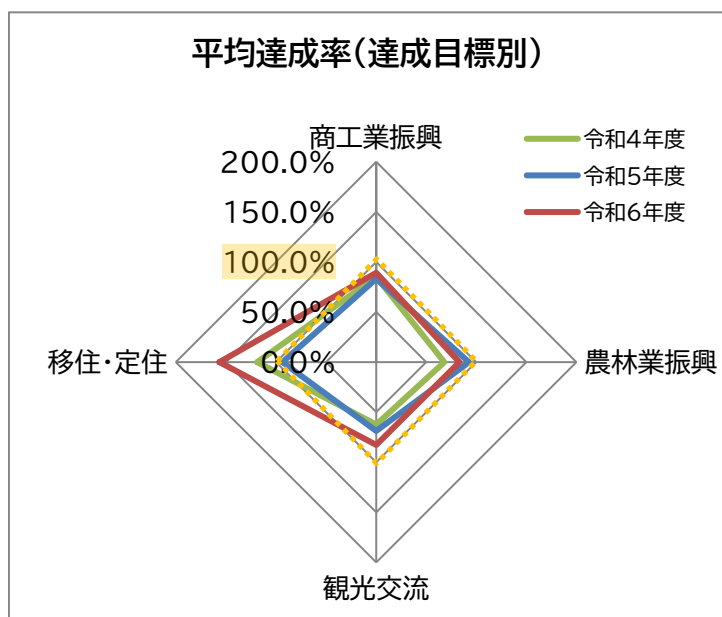
進捗状況

◆『目標達成』の割合が前年度比+16.7%と、着実に進捗していると言える。

達成方針別の状況

- ◆【地域福祉】では、ボランティアのグループ数が3グループ増加し、順調に進捗している。
- ◆【健康づくり】では、自殺者数が減少するなど、各指標の達成率の水準は高い。
- ◆【保健・医療】では、各指標において目標達成を維持している。
- ◆【高齢者福祉】では、生活支援コーディネーターが増加した一方で、高齢者の一般介護事業への参加率は低調にある。
- ◆【障がい者福祉】は有効求人倍率など外的要因に影響される面もあるが、昨年度同様低調にある。
- ◆【生活支援】では、進捗は低調だが、今後も関係機関と連携し、取り組みを進めていく必要がある。

○基本目標 4 千曲の特色を磨き上げ、賑わいと活力あるまち



平均達成率(基本目標全体)		
R4	R5	R6
77.3%	83.9%	92.1%

平均達成率(達成方針別)				
達成方針	R4	R5	R6	
商工業振興	85.2%	83.2%	89.2%	
農林業振興	68.1%	92.7%	83.2%	
観光交流	62.4%	68.8%	82.7%	
移住・定住	118.7%	93.5%	156.5%	

令和 6 年度までの進捗状況	
目標達成	28.6%
きわめて順調	4.8%
順調	42.9%
やや低調	19.0%
低調	4.8%

平均達成率(基本目標別)

- ◆令和 6 年度平均達成率は 91.1%となり、前年度比 +8.2%となった。達成方針別にみると、【移住・定住】が大幅に上昇した。

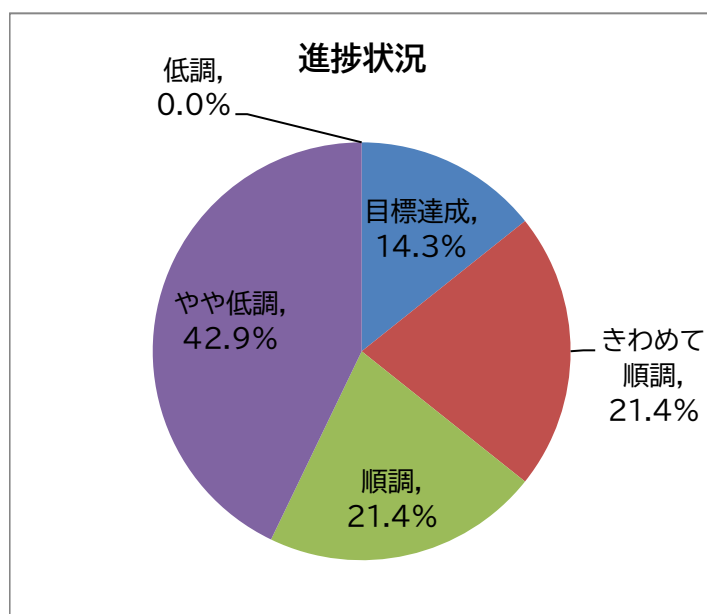
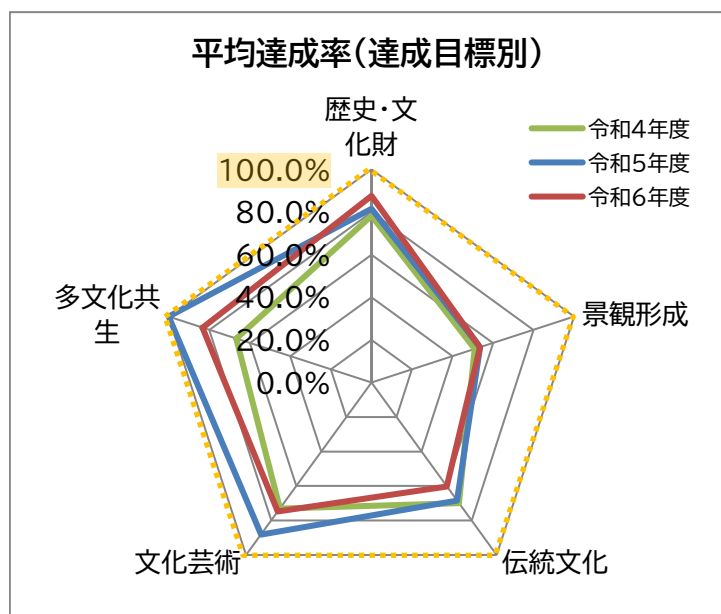
進捗状況

- ◆『目標達成』～『順調』が 75%を超えており、比較的順調であると思われる。

達成方針別の状況

- ◆【商工業振興】では、『ふるさとハローワークの相談・紹介件数』が若干減少したものの、その他の指標は概ね順調に推移している。
- ◆【農林業振興】では、『新規就農者の認定件数』『遊休農地面積』の指標が落ち込んだものの、その他の指標概ね堅調に推移している。
- ◆【観光交流】では、全ての指標において前年度実績を上回るなど、概ね順調傾向にある。
- ◆【移住・定住】では、『空き家バンク活用による契約成立件数』『社会増減』いずれの指標も前年度に比べ大幅に増加するなど順調に推移している。一方で若年層の流出が課題となっており、引き続き全庁的に対策に取り組んでいく必要がある。

○基本目標 5 輝かしい歴史文化の伝承と、新たな文化を創造するまち



平均達成率(基本目標全体)		
R4	R5	R6
68.3%	75.9%	70.5%

平均達成率(達成方針別)				
達成方針	R4	R5	R6	
歴史・文化財	78.3%	81.5%	87.6%	
景観形成	51.0%	53.6%	53.6%	
伝統文化	69.9%	68.4%	60.3%	
文化芸術	73.1%	88.2%	74.8%	
多文化共生	66.7%	100.0%	83.3%	

令和 6 年度までの進捗状況	
目標達成	14.3%
きわめて順調	21.4%
順調	21.4%
やや低調	42.9%
低調	0.0%

平均達成率(基本目標別)

- ◆令和 6 年度平均達成率は 70.5%となり、前年度比－5.4%となった。【歴史・文化財】の達成率が上昇した一方、【伝統文化】【文化芸術】【多文化共生】は達成率が減少した。

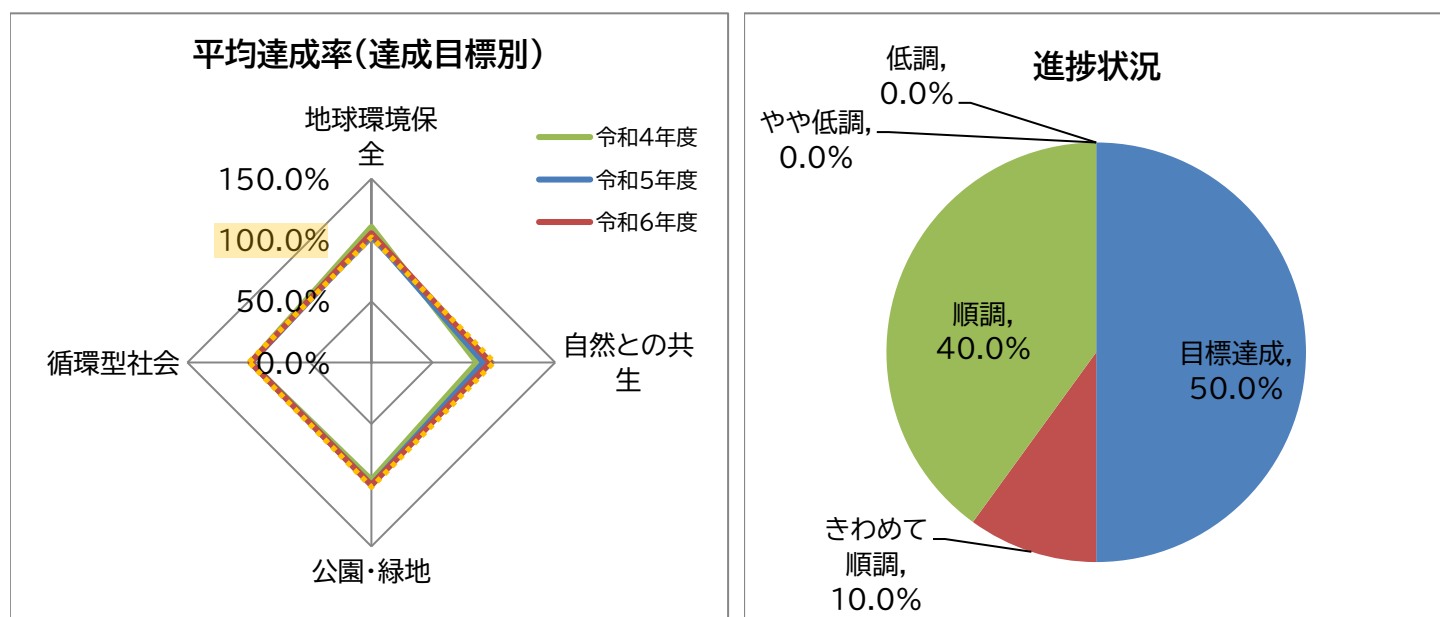
進捗状況

- ◆『低調』の割合が前年度に比べ減少した一方、『目標達成』の割合も減少しており、順調な取組とやや低調な取組に分かれている。

達成方針別の状況

- ◆【歴史・文化財】では、『文化財保護事業実施件数』は順調に実績を伸ばしたが、『博物館・史跡公園の入館(場)者数』は減少傾向にある。
- ◆【景観形成】では、実績が生まれるまで時間がかかるものもあるほか、修景事業に対する補助制度の周知が課題となっている。
- ◆【伝統文化】では、全体的に数値が伸び悩んでおり、『郷土食の提供数』や『千曲市食の文化祭入場者数』では学校への呼びかけや市民への周知が課題となっている。
- ◆【文化芸術】では、文化会館に関する指標が減少している。
- ◆【多文化共生】では、『千曲万博の入場者数』が若干減少した。

○基本目標6 未来に繋げる自然と共生するまち



平均達成率(基本目標全体)		
R4	R5	R6
94.5%	96.3%	98.7%

平均達成率(達成方針別)				
達成方針	R4	R5	R6	
地球環境保全	110.7%	104.1%	105.5%	
自然との共生	86.2%	91.6%	96.9%	
公園・緑地	95.7%	100.0%	100.0%	
循環型社会	98.5%	98.1%	98.5%	

令和6年度までの進捗状況	
目標達成	50.0%
きわめて順調	10.0%
順調	40.0%
やや低調	0.0%
低調	0.0%

平均達成率(基本目標別)

◆令和6年度平均達成率は98.7%となり、全指標で90%以上となっているほか、半数の指標で目標を達成している。

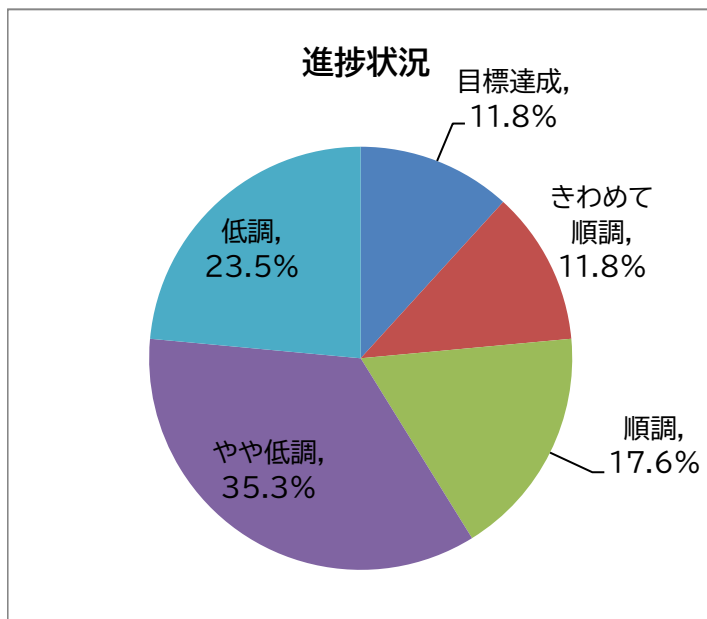
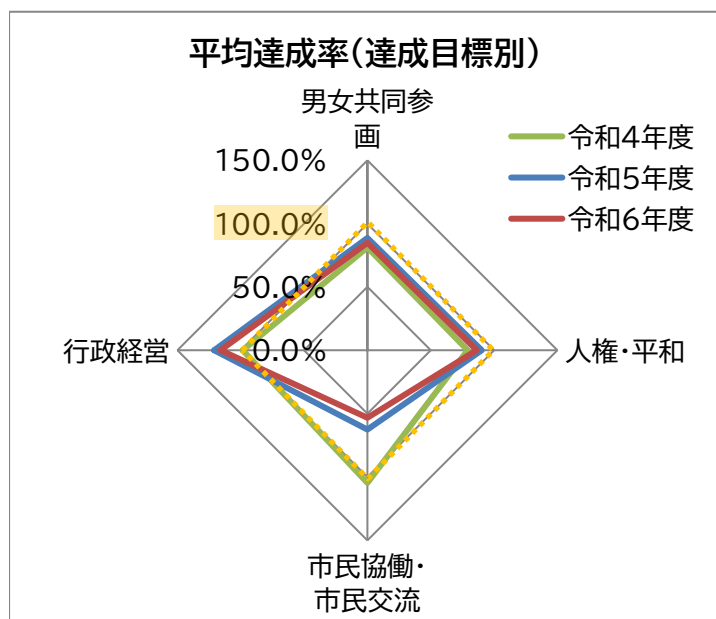
進捗状況

◆『目標達成』の割合が50%と全基本目標のなかでも最も高いほか、その他の項目も『きわめて順調』『順調』のいずれかであり、非常に順調に推移している。

達成方針別の状況

- ◆【地球環境保全】では、『市全体の温室効果ガス排出量(推計)』において、令和4年度から継続して目標値を達成している。
- ◆【自然との共生】では、『希少な動植物の年間保護活動件数』が増加した一方ほか、その他の指標も概ね順調に推移している。
- ◆【公園・緑地】では、『都市公園(公園・緑地)の個所数』において前年度に引き続き目標を達成した。
- ◆【循環型社会】では、全ての指標で達成率が9割を超えており、堅調に推移しているといえる。

○基本目標7 一人ひとりが輝く、協働で創るまち



平均達成率(基本目標全体)		
R4	R5	R6
95.6%	99.8%	94.1%

平均達成率(達成方針別)				
達成方針	R4	R5	R6	
男女共同参画	81.3%	88.7%	84.9%	
人権・平和	79.1%	90.3%	86.3%	
市民協働・市民交流	104.7%	62.5%	53.2%	
行政経営	98.5%	121.0%	116.0%	

令和6年度までの進捗状況	
目標達成	11.8%
きわめて順調	11.8%
順調	17.6%
やや低調	35.3%
低調	23.5%

平均達成率(基本目標別)

◆令和6年度平均達成率は94.1%となり、前年度比－5.7%となった。【行政経営】については引き続き目標を達成した一方、その他の指標では達成率が減少している。

進捗状況

◆前年度と比べると『低調』の割合が減少した一方、『目標達成』『きわめて順調』の割合も減少しており、一部の指標においては進捗が伸び悩んでいる。

達成方針別の状況

- ◆【男女共同参画】では、いずれの指標も前年度から微減している。
- ◆【人権・平和】では、各指標とも前年度から微減している。
- ◆【市民協働・市民交流】では、いずれの指標も前年度に比べ微減した。また、『(仮称)地域づくり協議会の数』では、詳細な制度が確立していない等の課題があることから、引き続き丁寧に説明を行っていく必要がある。
- ◆【行政経営】では一部低調な指標があるものの、行政手続きのオンライン化を着実に進めるなど、市民の利便性向上に寄与している。

■ 行政評価等外部委員会からの政策評価に対する意見等

■ 政策評価等

○ 総合計画 成果指標について（全体）

【北島副会長】

- ・ 目標値の設定の仕方によって、達成率の印象が変わる。

（総合政策課回答）

ご指摘のとおり、目標値の設定の仕方により達成率の見え方が変わる部分があると認識しております。次期総合計画策定に当たっては、各指標の実態を反映した適切な目標値となるよう進めてまいります。

【石澤委員】

- ・ KPI の目標値は、基準となるデータ年度数値をベースとして設定しているかと思われませんが、目玉となる（あるいは目玉にする）指標においては大きな目標値を設定しても良いのではないかと考えます。市民の為、市の発展のために必要な指標には積極的な目標値を掲げ、大胆な取り組みを行っていただいて宜しいのではないかと考えます。

（総合政策課回答）

次期総合計画策定に当たっては、現行の KPI 指標の精査が必要と考えております。いただいたご意見も参考にさせていただきながら、検討を進めてまいります。

○ 基本目標 1

【大裕委員】

- ・ 【防災・減災】平均達成率が 68.7%で 7 割にもとどいていません。現状に満足せず更なる改善等により達成率を上げることをお願いします。

（危機管理防災課回答）

- ① 消防団員数⇒団員数は基準年と比較し 82.8%となっているが、令和 5 年度には「消防団改善計画」を策定し、防災力は維持しつつ従来のイベントや各種訓練等の規模を縮小し、団員の負担軽減を図っている。また、今年度は新たに準中型自動車免許取得補助（原則全額補助）を導入し、若い世代の入団を推進する。
- ② 地区防災計画件数⇒地区防災計画促進のため、区長・自治会長へ計画に対する説明を個別で行い、令和 7 年 7 月末現在で 38 地区が策定し、達成率は 126.7%となっています。目標値は達成していますが、地域防災力向上のため、全地区の策定に向け引き続き区長・自治会長へ個別に説明を行ってまいります。
- ③ 民間との防災協定件数⇒令和 6 年度末現在 63 団体と協定を結んでおり、達成率は 126.0%となっています。今後も、より一層の災害対応力の強化を図るため、物資の供給、避難所など、各分野において民間事業者との連携体制の構築を進めてまいります。

（建築課回答）

木造住宅の耐震診断件数、木造住宅耐震改修工事件数ともに進捗状況はやや低調だが、令和 6 年度より耐震性に劣る住宅の建替えの除却工事にも補助を行っているため、件数は増加している。引き続き市民に対して広報を行い、周知を図っていく。

【大裕委員】

- ・【防災・減災】消防団については、他県で各団員に対して支払った報酬に対して団体による不適切な使い方やピンハネ？がニュースになっていました。千曲市ではそのようなことがないよう毎年指導をお願いします。報酬は団員個人へ支払われるもので、決して飲み会やコンパニオン等の費用にあてがうものではない。

（危機管理防災課回答）

報酬は市から各団員へ直接支払っており、ご指摘の事案はございません。また、会計監査も半期に1回実施しており、不適切な使用が無いようチェック体制を設けております。

【大裕委員】

- ・【防災・減災】民間団体等との防災協定については、協力団体が多いに越したことはないので、更なる協定アップを希望します。特に高齢者を車に乗せて避難することが今後増えると思うので、この点も重点的に協定アップをお願いします。

（危機管理防災課回答）

「多くの民間団体等との防災協定の締結」につきましては、本市においても重要な課題として認識しており、現在も必要に応じて災害対応に関わる民間団体等との協定締結を進めております。

今後につきましても、より一層の災害対応力の強化を図るため、物資の供給、避難所など、各分野において民間団体等との連携体制の構築を進めてまいります。

なお、高齢者を避難所へ送ることができる民間団体等との協定締結につきましては、他自治体の事例なども参考にしながら、関係部局とも連携の上、調査及び研究を進めてまいります。

○基本目標 2

【大裕委員】

- ・【子育て】子育て相談件数など伸び悩んでいる原因や理由は把握できていますか。

（こども未来課回答）

子育て支援センターを利用する家庭は主に未就園児のいる世帯ですが、女性の就労率の上昇や共働き

世帯の増加により、3歳未満児の保育園への入園が増加していることから、来館者自体は将来的には減少傾向にあると思われます。それに伴い、子育て相談件数についても大幅に伸びることはないものと考えております。なお、子育て相談件数の増加が子育てしやすい環境づくりの成果に必ずしも繋がるものではないと捉えております。社会状況の変化に合わせ、必要な方が利用しやすい相談体制を継続できるよう取り組んでまいります。

【大裕委員】

- ・【生涯学習】人材バンクへの新規登録がここ数年ありませんが、私自身もこの人材バンクのことをよく知りません。専門知識、特殊技能の言葉がハードルを高くしていると思います。評価委員会当日で構いませんが、説明をお願いします。

（生涯学習課回答）

人材バンクとは市民の皆さんの持つ知識や経験を、人材情報として収集・管理して、希望する人へ紹介するシステムです。「〇〇を学びたい・教えてほしい」と思っている人や地域の学習活動のため、千曲市のまちづくりのために生かしてもらうことを目的としていますので気軽に利用できるように市民への周知を行ってまいります。

【大裕委員】

- ・生涯学習人材バンクについて、もう少し市民が見てわかりやすく、これを登録しようと思えるような文
言にしてもらいたい。

（生涯学習課回答）

ホームページでは専門、募集分野の詳細というページがあり、そこで例えば教育、自然科学など分野
ごとに、主な内容というところで専門知識の内容を記載して募集をかけておりますが、委員ご指摘のと
おり、どこまで資格があればいいとかそういう細かい部分が欠けている部分ありますので、市民がど
こまで知識・資格があればどこに登録できるというところをお示しできるよう、今後変えていきたいと思
います。

【大裕委員】

- ・【スポーツ振興】千曲川ハーフマラソンにかかった費用について、松本市のようなことはないですか。
会計監査等は厳格に実施していますか。

（スポーツ課回答）

本大会は実行委員会を組織し開催しており、会計監査については実行委員会のメンバーとなってい
る

長野放送の監事 1 名及び市会計管理者により厳格に行っております。今後も引き続き厳正な会計管理
に努めてまいります。

【峯村委員】

- ・「成果指標一覧」において、「【教育】一人ひとりの個性を尊重し、生きる力を育む教育環境をつくる」
の指標名「学校に行くのは楽しい」の項目で、目標達成とあります。このアンケートは、学校に行っ
ていない児童生徒に対しても行われたものでしょうか？

（教育総務課回答）

毎年全国の小中学校に於いて一斉に実施される「全国学力・学習状況調査」の中の「生活習慣や学習
環境などに関する児童生徒質問調査」の質問項目であるため、調査の当日に学校を欠席した児童生徒に
ついては回答に含まれていません。

- ・全国学力・学習状況調査を受けていない生徒の意見は、どのように反映されていますか？

（教育総務課回答）

この調査は、自由記載による回答方法（意見を聞く）を取っておりません。また、調査の目的は、
義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、1.全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・
分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。2.学校における児童生徒への学習指導の充
実や学習状況の改善等に役立てる。3.そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイク
ルを確立することにあります。これを受けて、学力向上推進委員会では、各校の結果分析、考察、改善
策の策定などを推進・支援し、授業改善、児童生徒の学習習慣獲得などの指導に生かしています。

なお、「生活習慣や学習環境などに関する児童生徒質問調査」は母集団全体の傾向の分析と把握を進
めるために行っており、「学校に行くのは楽しい」は、特に「千曲っ子教育ビジョン」に関する千曲市
の取組と関連の深いものとして結果分析をしています。

【峯村委員】

- ・「学校に行くのは楽しい」の成果指標について、基準値を上回りきわめて順調、目標達成となっている

が、これは学校に行っている子たちに聞いている数字であり、学校に行けていない不登校の子供たちがこの質問をされた場合、学校に行くのが楽しいと答えるわけがない。

その子たちの数が入っていないのに、順調である目標達成していると捉えられるのはいかなものか。不登校児童生徒の数であるとか、学校に行くのが楽しいと思っていないだろう子供たちの声、声なき声を無視しないでいただきたい。

(教育総務課回答)

自己評価については、成果指標の達成度等から現況評価を行う施策評価に基づく現状評価を行い報告しております。

なお、第三次総合計画においても不登校児童生徒に関する施策項目をあげておりますので、個別計画「第二次千曲市教育振興基本計画」で基本目標を定め、総合計画における「2-2-1 子どもたちみんなが楽しく学べる学校をつくる(2) 豊かな心・健やかな体の育成」を施策項目として、不登校児童生徒に関する指標など達成すべき見通しを定めております。指標としては、不登校状況を表す文科省調査と相談・指導状況を表す文科省調査を選定しています。

また、第二次千曲市教育振興基本計画の後期部分として「千曲っ子教育ビジョン」を令和6年度に策定しており、基本施策1の施策項目1-2の「オ いじめ・不登校への対応」の方向性と展開を具体的にしています。その中で令和6年度には、不登校児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等のための相談、支援・指導(学習指導を含む)を行うことにより、その社会的自立に資することを目的として「千曲市教育支援センター」を設置し、本年度は児童生徒が多様な学びの場へ通うことを支援するため、フリースクール等の利用にかかる利用料の一部に対して補助

金を交付する「フリースクール等利用者補助金」を新設するなど計画を推進しています。

○基本目標3

【大碓委員】

- ・【障がい者福祉】数値的には低調ではあるが、求人がなければ数値を上げることも出来ないのも難しいとは思いますが、引き続き継続をお願いします。参考までに求人に対する年齢層を教えてください。

(福祉課回答)

幅広い年齢層に求人はありますが、比較的若い方に対する求人が多いです。ただし、求人数そのものが少なく、要員の一つとして最低賃金引上げの影響があるとの声もお聞きしています。

一般就労への移行を希望する方のそれぞれの特性などにも配慮しながら、関係者等と連携して取り組んでまいります。

○基本目標4

【下平会長】

- ・移住定住が顕著に良い指標が出ていることにより、基本目標4全体の底上げにつながっており、高く評価します。引き続き関係人口も含む人口増政策に力を注いでいただきたいです。

(総合政策課回答)

人口減少対策には、移住定住施策のみならず、子育て支援や企業誘致、結婚支援など幅広い分野における取組が必要です。引き続き部局横断的な体制を構築し、千曲市を選んでもらえるような魅力ある地域づくりに取り組んでまいります。

【大裕委員】

- ・【農林業振興】協働の森づくり事業は非常によいことだが、植樹した後はどのように管理をしていますか。植えっぱなしでしょうか。また、植樹から数年後の様子はどうなっていますか。雑草だらけ？鹿等の食害？

（農林課回答）

⇒ 植樹後の管理のご質問ですが、植樹後の管理もしており、定期的の下草を刈っております。

○基本目標 5

【下平会長】

- ・基本目標 5 においては、景観形成事業に著しく結果が出ていないことで、全体の指標を下げていると思われる。修景事業に対する補助事業の周知を高めることについては今後、改善が十分可能だと思います。

（歴史文化財センター回答）

修理事業については周知が進み実施件数も概ね順調に推移しておりますが、修景事業に関してはご指

摘のとおり低調となっておりますので、周知を進め、稲荷山の伝統的な街なみ景観の向上を図ってまいります。

【大裕委員】

- ・【伝統文化】学校への呼びかけや市民への周知が課題となっていると記載されているが何が課題なのか、具体的に教えてください。

（農林課回答）

「郷土料理講習会」の開催についてチラシ配布等により各学校へ依頼していますが、他の学校行事等との調整がつかず、新たに取り組む学校が増えない状況です。学校行事が組まれる前に呼びかけ、新たに取り組んでもらえる学校を増やすよう工夫してまいります。「食の文化祭」については、市報やメディアへの投げ込みにより周知を図ってまいりましたが、若い世代への周知を図るため、SNS 等を活用し多様な情報発信に努めてまいります。

○基本目標 6

【大裕委員】

- ・【公園・緑地】公園に設置されている遊具が非常に高額だと聞いたことがあります。一部の公園の遊具は外国製と聞いています。真偽はともかく、遊具等の更新の際、価格の妥当性等、審議や検討をした結果による設置でしょうか。ただ安全と価格を天秤にはかけられません。

（都市計画課回答）

遊具等の公園施設の更新については、令和 4 年度に策定した「千曲市公園施設長寿命化計画」に基づき対象となる施設を更新しています。更新対象となった施設については、既設の施設の利用状況を確認し、同等の機能を発揮できるものを複数のメーカーから見積徴取し妥当性を確認し設置しています。

なお、更新する施設については、「遊具の安全に関する基準 JPFA-SP-S:2024（一般社団法人日本公園施設業協会）」又は「一般公園施設製品の品質と安全に関する基準 JPFA-SPL:2024（一般社団法人日本公園施設業協会）」に準拠したものを選定しています。

【大裕委員】

- ・【循環型社会】生ゴミ堆肥化处理ですが、クマや野生動物による被害が発生しませんか。ニュースでもコンポストがひっくり返されて荒らされたとありました。

（環境課回答）

今のところ当市ではクマ等の被害の報告はありませんが、誘引する可能性もあるためコンポストの適正な管理や、場合によっては使用を控える等周知していきたいと思います。

○基本目標 7

【大裕委員】

- ・【市民協働・市民交流】地域づくり協議会については、ここ数年進捗なしの状態です。やはり実現には難しい指標なのでしょうか。指標自体の見直しも必要なのでは？

（総合政策課回答）

第三次総合計画では「地域住民が主体的に地域の特性を活かした地域づくりを展開するための新たな組織」として「地域づくり協議会」の運営と設立の支援を掲げております。区・自治会がそれぞれ実施していた行事や活動等の中で、広域的に実施できるものを協議会へ移行することで、区・自治会の負担軽減を図りたいと考えております。基本的には、「協議会を設立するか」、「どんな行事・活動を協議会に移行するか」などについて、市からの強要ではなく選択制（手上げ方式）として考えておりますが、これまで相談に来られた地区又は団体は2件でありました。ご指摘の目標値ですが、地域内においても合意形成を図ることが難しい仕組みではあるかとは思いますので、指標自体の見直しも検討してまいります。

【大裕委員】

- ・【行政経営】ふるさと納税、千曲市でも返礼品の不手際がニュースになりましたが、その後どうになりましたか。

（ふるさと振興課回答）

この度は、ふるさと納税業務におきまして、事務の不手際によりご迷惑、ご心配をおかけし大変申し訳ありません。

当市のふるさと納税返礼品において、地場産品基準及び確認申請に不備がありました事案につきまして、既に市HPにおいて報告しており、報道等もされているところです。

この度の事案につきましては、5/22に外部より地場産品基準に該当しない返礼品がポータルサイトに掲載されている旨の指摘を受け、覚知したものであります。

当該返礼品につきましては、即時寄附の受付を停止するとともに、理事者並びに長野県へ報告いたしました。併せて、他の返礼品につきましても確認しましたところ、指摘を受けた返礼品を含め、5種16品目について地場産品基準に該当しない、あるいは、確認申請に不備があることが判明し、それらの返礼品のすべてについて、5/26日までに寄附の受付を停止いたしました。

この度の事案について、長野県の助言をいただきながら、詳細な報告書を作成し、6/11長野県を経由し総務省宛てに提出いたしました。現在は総務省からの連絡を待っている状態です。

なお、当該返礼品を送付した寄附者への対応につきましては、県及び市の顧問弁護士に相談したうえで、希望者には返金する方向で準備を進めております。

【大裕委員】

- ・ふるさと納税業務の報告書について総務省からの連絡を待っている状況とのことだが、例えばどんなペ

ナルティがあるのか。総務省からどんなペナルティが来ることを想定して、どう事前に対応するのか。

（ふるさと振興課回答）

ご質問のペナルティにつきまして、総務省による処分として想定されるのは「指定の取消」または「不指定」の二つでございます。

ふるさと納税の対象団体は毎年指定申出を行う仕組みとなっているため、現行指定分については「指定の取消」、次期指定分については「不指定」となる可能性をいずれも否定できません。現時点での見直しは立っておらず、総務省の最終判断を待つほかございません。

また、これらの処分に対して、市として直接講じることのできる対抗措置は制度上なく、総務省の判断を受け止めるほかございません。仮に「指定の取消」となった場合には、制度上2年間は対象団体となることができませんが、その後、速やかに再度「指定団体」となるよう、必要な準備を整えてまいります。

さらに、処分の有無にかかわらず、この度の事態を厳粛に受け止め、再発防止に向けた取組を徹底してまいります。

なお、本市のふるさと納税は、まず市の予算で事業を実施し、その後に寄附金を充当する仕組みをとっております。したがって、仮に寄附の受付が一時的に停止した場合でも、事業そのものが直ちに中止となるような影響は生じないものと考えております。

【大裕委員】

- ・【行政経営】ふるさと納税の税収を当てにして、事業計画を立ててはいないでしょうか。ふるさと納税はあくまでもおまけ的な税収として捉えておいた方がよいと思います。

（財政課回答）

ご指摘のとおりと考えております。ふるさと納税は現在、当年度分は必要経費を差し引き、「魅力あるまちづくり基金」へ積立て、翌年度取崩し、寄付者の希望に沿った事業の財源としています。この事業はあくまで既存の事業であって、ふるさと納税の多寡によって、事業の実施有無や拡大縮小を左右するものではありません。

【大裕委員】

- ・【行政経営】職員数ついて、日々遅くまで市役所の電気が点いています。恐らく残業だとは思いますが、日々の業務量に対して職員数が合っていますか。

人を減らして職員の残業が増えるのでは、本末転倒です。また、無駄な作業や省力化できる作業等がないか、各職場で見直しをしてみたいかがでしょうか。

（総務課回答）

一人当たりの平均残業時間は、令和5年度が134.5時間、令和6年度が125.7時間となっており、各職場で業務の見直しを図りながら、残業時間の削減に取り組んでいるところです。

引き続き適切な人員配置と、事務の電子化による省力化や業務見直しを進めてまいります。

【高野委員】

- ・基本目標の進捗状況 P8、令和6年度までの進捗状況の数値は平均の数値が記載されています。基本目標7の進捗状況が低調とやや低調で60%近くになっているのに平均達成率が94.1%となってしまうのがよくわかりません。

（総合政策課回答）

基本目標7の「【行政経営】行政手続きのオンライン化推進」中の指標「ながの電子申請手続数」が

目標値を大幅に上回る状況（達成率 376.5%）になっていることなどが、基本目標 7 全体の平均達成率を引き上げている要因と思われます。

【高野委員】

- ・全体をひっくるめてこの数値だからいいではなくて、とてもいいものもあるけど伸び悩んでいるものもあるというのが、もう少しわかりやすい方がいいのではないかなと思う。

（総合政策課回答）

委員ご指摘のとおり、一方が良いから、それが悪い部分を補完しているという形では本来の評価とはいえないと思います。

来年度で今の総合計画も新たに変わりますので、評価の仕方についてはもう少し実態に即したものに変わっていくよう事務局としても検討してまいります。

○その他

【大裕委員】

- ・職員はカスハラやパワハラ等に遭っていませんか。行政組織として一番重要なのは、職員ファーストです。（行政サービスは市民ファーストですが）一人でも欠けると残された職員の業務負荷量は確実にアップします。特にカスハラの対策として窓口でのクレームに対しては、一人ではなく二人以上で対応するとか、職員を守るための工夫をお願いします。

（総務課回答）

カスタマーハラスメントへ適切に対応し、職員の安全と健康を守りつつ、住民サービスの向上へつなげるため、職員向けにカスタマーハラスメント対応マニュアルを作成し、事案が生じた際の対応方法や相談体制の周知を図っています。また、各種ハラスメントに対する研修も毎年実施しているところですが、引き続き、ハラスメントに対する庁内組織体制を整え、職員が安心して業務に取り組めるよう努めてまいります。

【柳澤委員】

- ・市職員の離職状況や、職員本人たちの仕事や実績に対する評価を知りたい。（アンケートなど）

（総務課回答）

60 歳より前の早期退職者の状況ですが、令和 5 年度は 23 名、令和 6 年度は 15 名です。

離職理由としては、転職や家族状況の変化、本人の体調によるものなど様々です。

令和 5 年度に職員に対して実施した仕事に対するアンケート結果の一部を下記に抜粋します。

○今の仕事で能力を活かしているか

そう思う 18.2% 少しそう思う 36.0% どちらでもない 23.2%

あまりそう思わない 13.1% そう思わない 9.4%

○今の仕事にやりがいを感じるか

そう思う 22.6% 少しそう思う 33.3% どちらでもない 20.9%

あまりそう思わない 12.1% そう思わない 11.1%

○自身の能力についての自己評価で、過半数の職員が自信を持っていると回答した項目

「責任を持って業務を遂行する力」、「部下や同僚と連携・協調する能力」、「市民に対する接遇技

○自身の能力についての自己評価で、自信を持っているとの回答が低い項目

「政策法務能力」、「折衝・交渉力」、「DXを活用する力」、「部下を育成する力」

人事担当課としては、「千曲市人材育成基本方針」に基づき、職員の採用、適正配置・人事評価などの諸制度を的確に遂行していくことで、効率的かつ効果的に人材育成を進め、職員の能力開発、組織力の向上を図ってまいります。

【大浴委員】

- ・仕事に対するアンケート結果を職員に対してフィードバックしているのか。また、自身の能力についての自己評価で自信を持っていない項目について、何かしらの教育の場を設けているのか。

（総務課回答）

アンケート結果については、報告書にまとめ、職員に報告をしています。

自信を持っていない項目については、報告書の中で、「OJTの実施や研修実施、人材育成のための基本となる計画の策定とその遂行の過程を通じて職場ぐるみで計画的に強化することが必要である」と分析しています。自信を持っていない能力の底上げを図るため、庁内研修や、外部機関の研修の紹介を行っておりますが、より多くの職員が研修を受講できるよう、引き続き研修機会の充実に取り組んでまいります。